

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 谷口 典隆 様

広聴委員会

委員 谷口 典隆

開催日時	令和3年11月12日（金）10時00分～16時00分
開催場所	彦根市役所 本庁舎1階 情報公開コーナー
出席議員	議 員 氏 名
	Aグループ：10:00～12:00 辻議員（副委員長）・森田議員 Bグループ：12:00～14:00 矢吹議員・野村議員 Cグループ：14:00～16:00 中川議員・谷口議員 総括責任者として常駐：黒澤議員（委員長）
参加者数	Aグループ：4名 Bグループ：4名 Cグループ：3名 合計：11名
内 容	<p>事業名：第37回議会報告会「議会広聴の日」</p> <p>目 的：昨年度、コロナ禍によりオンラインでの開催等新しい取組にチャレンジしたものの、アンケートによる意見聴取等が振るわず、広聴機能面での課題が浮き彫りになったことから、今年度は広聴機能を充実させるために「議会広聴の日」を開催する。</p> <p>概 要：市民が参加しやすい場所や時間などを考慮した結果、市役所本庁舎1階ロビーにつながる情報公開コーナーに机と椅子を設置し、そこに議員が交代で終日常駐し、市民からの意見や要望、提言などを受け付ける形式とした。特にテーマを設けることなく市政や議会に関することや困りごとなど、意見交換の場を開催するもの。</p> <p>周 知：広報ひこね11月1日号への記事掲載・ホームページやfacebookへの掲載・のぼり旗の掲出（当日のみ）。</p> <p>以下、事業実施日の相談内容と対応を記載し報告とする。</p> <p>Aグループ</p> <p>○総合計画審議会委員への議員の就任を要望。 →これまでの経緯と就任していない理由を説明し一定の理解を得られた。</p> <p>○パブリックコメントのあり方についての提言。 →現状での市の対応状況を説明。</p>

- 彦根市に公営プールの建設を要望。
→ごみ焼却施設の熱利用による整備の可能性も含め、所管課に要望事項を伝えるとともに、小中学校のプール管理のあり方も踏まえ新しい発想での公営プールの整備方針が必要との認識を説明。
- 市議会本会議での休憩が多すぎることや服装の統一について提言。
→執行部の答弁準備や議員の質問の仕方などの精査の必要性を認識するとした上で、クールビズ期間の上着着用は任意にしていることから理解を求めた。
- 庄堺公園の遊具が使用禁止になっていることなどへの対応要望。
→同遊具については市としては撤去の方針であることを説明。
- 甘呂町バス停廃止について対応要望。
→路線バスの現状を説明し、愛のりタクシー制度を紹介。
- ローソン甘呂町店付近の交通安全対策について要望。現在、城陽小PTAを通じて市教委に要望書を提出する予定とのこと。
→状況を注視していくと回答。
- 図書館の図書貸出期間を現状の2週間から3週間に延長することを要望。
→所管課にご意見をお伝えする。

Bグループ

- こども園の入園に際し、兄弟姉妹優先枠を設けることについて今後の検討課題としてほしいとの要望。
→所管課にご意見をお伝えする。
- 学校に行き渋る子への支援策のひとつとして、学校内に「教室」と「保健室」の中間的な位置付けのフリースクールの設置を検討してほしいと要望。
→所管課にご意見をお伝えする。

Cグループ

- 清崎町で計画されている中央図書館の整備を早く進め、開館時間の延長や図書館司書が学校司書と兼務するなど利便性の高い図書館整備を要望。
→利便性の高い図書館整備について議会でもさらに調査研究を進めることを説明。
- 住宅地にある公園を地域外の市民が使いやすいようにしてほしいとの要望。
→都市計画公園だけでなく、市が自治会に管理委託している開発公園であっても、遊具や水道等を誰が利用しても問題はないことを説明。
- 学校教育の現場で「井伊直弼」の人物評価に対する意見。
→功績や施策も含めて教えることは重要と説明。
- 県内・市内の学力向上に対する意見。
→全体のレベルアップが重要との認識や市内の学力向上については市議会でも調査研究した経緯などを説明。
- コロナワクチンを接種することが当然との風潮に違和感があるとの意見。
→現状での国や自治体など行政の取組を説明。地域や学校でも人権に配慮した対応が必要と説明。所管課にご意見をお伝えする。
- 市街化調整区域(特に稲枝地域)に家を建てることのできないことへの意見。
→農地転用や農地最適化の課題や要望があることを説明。
- 稲枝地域以外の連合自治会組織について質問。

	<p>→他学区の現状と稲枝地域との差異を説明し、所管課を紹介。</p> <p>○稲枝北小・稲枝西小の老朽化が著しいため建て替えを要望。</p> <p>→建て替えの優先順位を定めていることを説明。所管課にご意見をお伝えする。</p> <p>○学校の愛校作業は自治会に依存するのではなく本来、学校教職員が行うべきとの意見。</p> <p>→他学区の取組を紹介。所管課にご意見をお伝えする。</p>
<p>考 察</p>	<p>【考察】</p> <p>初めての試みとなった「議会広聴の日」事業であったが、当初、想定していた以上に、幅広く掘り下げられた意見や要望、提言が多かったとの認識を持った。また、今後の検討課題のひとつとして捉えてほしいとの意見も寄せられた。</p> <p>こうしたことから行政や議会に対して意見や要望、提言をお持ちの市民が数多くおられ、現状のツールであるホームページや市政への意見・提言だけでは包括しきれていないものとする。また、我々議員が日頃の議員活動の中で、情報を発信する広報力と比較すると、市民の声を受信する広聴力が決して十分でないことの証左と言えるのではないだろうか。</p> <p>世界中が「誰ひとり取り残さない社会の実現」を標榜している以上は、行政や議会が様々な手法を用いて広聴機能を充実させていくことは必須であり、私たち彦根市議会としては引き続き「議会広聴の日」事業を通じて、意見や要望、提言に加えて、市民からの相談にも応じられるよう、定例日を決めて実施するなど市民に開かれた親しみやすい議会を目指すべきと考える。</p>